

## 環境自主行動計画第三者評価委員会について

1. 設 置      2002年7月23日

2. 目 的

- (1) 環境自主行動計画のフォローアップ（温暖化対策編）が適正に行なわれていることを第三者の立場から確認し、透明性・信頼性を評価すること。
- (2) 環境自主行動計画のフォローアップ（温暖化対策編）について改善が望まれる点を指摘し、透明性・信頼性のより一層の向上に資すること。

3. 活動実績

過去2回（2002年度、2003年度）のフォローアップに対し、

- ① フォローアップ参加業種によるデータの収集、集計、報告の各プロセス、ならびに参加業種からの報告データの集計が適正に実施されたか
- ② フォローアップ全体のシステムにつき、透明性・信頼性の向上の観点から改善すべき点を勧告する

との観点から評価を行ない、2003年3月、ならびに2004年4月の2度にわたり「環境自主行動計画評価報告書」を作成、公表した。

4. 委員構成

委員長：	山 口 光 恒	（慶應義塾大学経済学部教授）
委 員：	青 柳 雅	（三菱総合研究所地球環境研究本部長）
	浅 田 浄 江	（WEN 代表）
	内 山 洋 司	（筑波大学機能工学系教授）
	佐 藤 博 之	（グリーン購入ネットワーク事務局長）
	根 上 卓 也	（神戸製鋼所顧問）

「2003 年度環境自主行動計画評価報告書」における指摘事項と  
2004 年度フォローアップにおける対応状況

指摘事項	対応状況
全業種がバウンダリ調整の有無を確認して報告する	フォローアップ調査結果「個別業種版」にて対応予定
2010年度の排出量の予測値の根拠となる生産額や生産量の予測値を公表する マクロの統一指標とミクロの目標との関連性、整合性について説明する	フォローアップ調査結果「個別業種版」にて対応予定 産業・エネルギー転換部門全体の排出量予測と生産活動量の前提は別紙4（p14）に掲載
目標指標の選択理由、目標数値の算出根拠について説明する	フォローアップ調査結果「個別業種版」にて対応予定
ライフサイクル全体における排出削減への効果を、できる限り統一的、定量的に評価する	フォローアップ調査結果「個別業種版」にて対応予定。 主な事例をp3に掲載。
民生・運輸部門の削減に関する、具体的な取り組み状況を公表する	フォローアップ調査結果「個別業種版」にて対応予定。 主な事例をp2～3に掲載。
各業種目標と自主行動計画全体の目標との関係、どのようにして総量目標の達成を担保するのか、明確に説明する	主要業種における2010年度CO2排出量見通しをもとにした予測を別紙4（p14）に掲載。
各業界が責任を持って取り組める原単位目標について検討するとともに、原単位の成果について情報公開を心がけるべき	原単位目標については検討中。 参加全業種（産業・エネルギー転換部門）の原単位（成果）を別紙1（p7～）に掲載。
各業種のエネルギー効率が国際的にどのレベルにあるか、公表すべき	フォローアップ調査結果「個別業種版」にて対応予定。 主な事例を別紙3（p13）に掲載。

以上